

廃棄物発電システム

- ・高効率なサーマルリサイクル技術

特徴

- ・国内で50箇所の廃棄物発電設備(ごみ焼却プラントに併設)建設実績
- ・発電量の総計は300MWに達する
- ・プラントの稼働実績は、8,000時間連続運転を達成

概要 (技術の原理・動作等)

ごみ焼却に伴う発生熱を効率よくボイラで吸収し、蒸気タービン・発電機により電気エネルギーに変換する再生可能で持続可能なエネルギー変換技術。例えば、2,000kcal/kgの熱量を持つごみを1日当り1,000トン処理すれば、21MWの発電が可能。

舞洲工場(大阪市)
最大発電量32,000kW。
発電された電気は、一部プラント内でしようされる他は、電力会社に供給される。
施設内見学ツアーも用意している。



舞洲工場(大阪市)

中央清掃工場(東京都中央区)
発電量15,000kW。
同工場建設の際には、リサイクルされたコンクリート、砕石などを用いた。



中央清掃工場(東京都中央区)

北投プラント(台湾)
発電量45,000kW。
台湾に建設した本プラントを含めた3プラントは、各々8,000時間の連続運転を達成している。



北投プラント(台湾)

日立造船株式会社

環境・エネルギー・プラント本部
環境東京営業部

<http://www.hitachizosen.co.jp>
所在地: 〒140-0013 東京都品川区南大井6-26-3
TEL +81-3-6404-0831 FAX +81-3-6404-0839